

小さな世界都市を実現するための主要手段

自然との共生が徹底されている

○減災の考え方に立ち、自助、共助、公助により、まち全体の災害対応能力を高めていきます。

○自然環境に適合したまちづくりとライフスタイルを確立する取組みをさらに積極的に進めていきます。

○環境経済戦略を強力に推進し、豊かな環境の保全と経



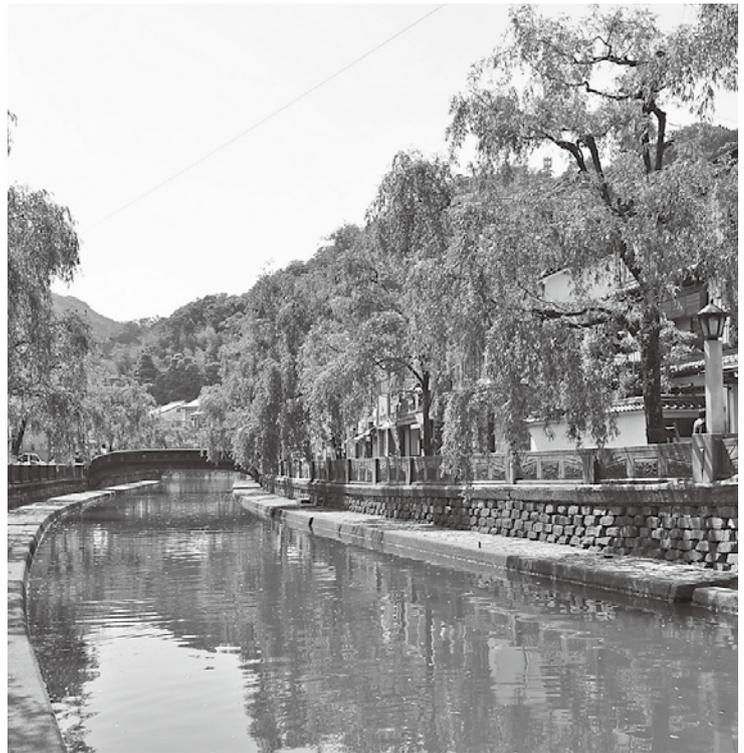
▲コウノトリと共に暮らす

済活性化の両立に挑戦していきます。

地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

○世界で輝く資源とチャンスは、私たちの足元にあり、世界に通用する質の高い「ローカル」を磨いていきます。

○個々の資源は、つながることにより新たな価値を生み



▲城崎の情緒ある町並み

だすことができます。市内にあるさまざまな資源を掘し、組み合わせ、まちの魅力の世界へと発信していきます。

優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる

○市民の心の豊かさやまちの魅力を高めるため、アーティストを積極的に受け入れ、文化芸術を創造し、誰もが文化芸術に気軽に触れ合い、



▲おんぶの祭典「子どもたちのためのコンサート」

楽しむことができます。創り上げていきます。○文化芸術と観光の融合による交流人口の拡大を図りながら、大交流の実現を目指していきます。

多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

○障がいの有無、性別、年齢差、国籍の違い、価値観・文化・習慣の違いなど、多様性を受け入れ、折り合いをつけながら共生するまちを教育、社会、経済、文化などの活動の中で築いていきます。

○人々をつなぎ、居場所と出番を提供する仕組みや取組みを進めます。



▲障害福祉サービス事業所による手作り製品の販売

内発型の地域産業がすくすくと育っている

○市場や地域、ビジネスに関する情報の提供、技術力の高度化支援、企業間ネットワークの構築支援など、地域産業活性化のための環境整備を進めます。特に、若者が失敗を恐れずに新たな事業に挑戦できる環境整備に



▲豊岡稽古堂塾



▲豊岡市芸術文化参与 平田オリザさんによる授業

○企業や業界などと行政との対話を通じて、さまざまな分野で豊岡ブランドの確立を進めます。

○子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会う

○豊岡の自然、歴史、伝統、

産業などを学ぶ「ふるさと教育」に取り組んでいきます。

○子どもたちがまちの中でさまざまな役割を持ち、責任を果たすことができる機会を提供していきます。

○幼児期から英語に親しむことを通じて、英語を身につける機会をつくり出します。

た、演劇を通じた「コミュニケーション教育」を進めます。

まちづくりの進め方

対話による新たな価値の創造 —とともにまちを創る—

市民、地域、企業、団体、行政が対話を重ね、まちづくりを進めていきます。

多様なつながりを創る

自分にはない知識や技術、センスや個性、ネットワークなど、特有の能力を持った人とつながりを持ち、足りないところを補い課題の解決に努めます。

施策の戦略的推進

基本構想の主要手段に基づき「市政経営方針」で、戦略的に進める施策を具体化します。

市民の暮らしを支える施策

基本構想は、市政全体の施策の中から、小さな世界都市を実現するための主要手段を選び取り戦略的に取り組むこととしています。

しかし、市政の総合性、継続性を踏まえ「豊岡市総合計画（計画期間：平成19～29年度）」の体系に基づき、引き続き市民の暮らしを支える諸施策を積極的に推進します。

安全に安心して暮らせるまち

市民の安全を守り、安心しておだやかに暮らせるまちを創るとともに、保健、医療、福祉が連携する「安全に安心して暮らせるまちづくり」を進めます。

人と自然が共生するまち

豊かな環境を保存・再生・創造し、次代に引き継ぐため、

広い視野と新たな発想により「人と自然が共生するまちづくり」を進めます。

持続可能な「力」を高めるまち

まちに活力と賑わいをもたらすため、定住環境、広域交流基盤、都市基盤の整備などを進め、若い力が発揮できる「持続可能な『力』を高めるまちづくり」を進めます。

未来を拓く人を育むまち

次代を担う子どもたちが地域を支える人たちが、ふるさとへの誇りと愛着を感じられる「未来を拓く人を育むまちづくり」を進めます。

なお、青少年に及ぼす影響などが懸念される場外車券（馬券）販売施設など、賭博性の高い施設が無いまちづくりを推進します。

人生を楽しみお互いを支え合うまち

日々の暮らしを楽しみ、お互いを思いやり支え合うことができる社会をつくるため「人生を楽しみお互いを支え合うまちづくり」を進めます。